



山のシューレ開き舞台  
イナンナの冥界くだり

日本では縄文時代にあたる、今から5,000年以上前、チグリス、ユーフラテス河畔（現在のイラク）に栄えた人類最古の都市文明シュメール。ここで生まれ、伝えられ続けたさまざま神話は、『聖書』を始め、後世の文明に大きな影響を与えました。山のシューレ2015の開き舞台は、このシュメールの女神、イナンナによる冥界下りの物語を上演いたします。

天地を統治する女王イナンナは、ある日、冥界へと心を向け、あらゆる地位や神殿を捨て、代わりに七つの「メ（神力）」を身につけて冥界に下ります。冥界の女王、エレシュキガルはそんなイナンナに怒りの目を向け、殺してしまいます。イナンナがいなくなつた地上では植物が枯れ、さまざまな災いが起こります。大臣ニンシュブルは多くの神々のもとに助けを求めるために奔走し、その結果、大神エンキが二人の精霊に命と草と命の水に与えて冥界に送り、その力によってイナンナは再びよみがえるのです。

「植物と水による再生」をテーマとし「豊穣の祈り」へと繋がるこの神話で、これから始まる三日間の山のシューレの成功と大きな実りを予祝します。

山のシューレの開き舞台では一昨年から「冥界下り」シリーズを上演しています。『古事記』のイザナギの冥界下りから始まり、ギリシャ神話のオルフェウスの冥界下りと時代を遡ってきて、今年は世界最古の冥界下りであるシュメールのイナンナの冥界下りです。

世界の神話に必ずといっていいほど存在する冥界下りのモチーフ。文字が生まれる以前の世界の息吹を色濃く残す冥界下りの神話には、古代人の死生観が如実に現れているとともに、現代人である私たちに生きるということ、死ぬということを見つめる上でもさまざまな示唆を教えてくれます。

今回は人と人形（ひとかた）、そしてシュメール語と能の語り（日本語）で上演いたします。シュメール語による上演は世界ではじめてです。

## [詳 細]

開催日程 2015年6月6日（土）  
時 間 17時00分～19時00分

プロデュース：安田 登（能楽師）

出演者 安田 登（能楽師）語りとニンシュブル、エレシュキガルの声  
　　榎宅 聰（能管）  
　　奥津健太郎（狂言）ネティ  
　　蜜月 稀葵（ダンサー）イナンナ  
　　辻 康介（南蛮ムジカ主宰・歌）イナンナの声  
　　百鬼 ゆめひな（人形師）エレシュキガルとクルガラ、ガラトウル  
　　香西 克章（指揮者）地頭  
　　鈴木 香世子 ニンシュンブルとダルブッカ  
　　樋口 亜由美 ダルブッカ ほか

主 催 特定非営利活動法人 アート・ビオトープ  
特別協賛・協力 株式会社 二期リゾート

## [講座を楽しむプレ講座]

今回はシュメール語も登場しますので、舞台を一層楽しむためにも、山のシユレプレ講座を3回開催いたします。プレ講座には、毎回多彩なゲストもよびミニ公演もいたします。

3月18日（水） 7時30分～9時30分 ゲスト：百鬼ゆめひな（人形師）  
4月15日（水） 7時30分～9時30分  
5月17日（水） 7時30分～9時30分